

日本学生支援機構の申込みについて

はじめに・・・

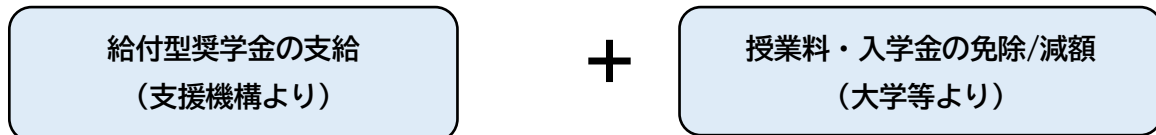
●保護者さんと学費などの費用についてよく話し合うこと

- ・進学先を絞り込み、入学金・授業料など、いつ・いくら必要なのか？
(オープンキャンパスにも保護者同伴で参加してみましょう。)
- ・進学後、学費以外にいくら必要か？(アパート代・その他生活費など。)
- ・既に学資保険などで準備している費用や家庭から準備できる学費は毎月どのくらいか？

収支を把握したうえで、足りない！となれば不足額を無理のない範囲で奨学金を借りましょう。

1. 2020年4月からの『高等教育の修学支援新制度』について

これは、日本学生支援機構の給付奨学金の対象生徒になれば、進学先の授業料等の免除もWで受けることができます。



収入がある場合も家族状況や兄弟が多い世帯などは、対象の可能性もありますので、『給付奨学金案内』P7を参考にしてください。令和7年度よりさらに拡充されています。

2. 日本学生支援機構の奨学金の種類・申し込みについて参照

種類	返済義務	家計基準 (収入・所得上限の目安)	学力基準
給付奨学金	なし	『給付奨学金案内』冊子のP4～P6	1.2年次評定3.5以上 3.5未満は意欲+家計基準
貸与奨学金 (第一種)	あり(利子なし)	『貸与奨学金案内』冊子のP7～P9	1.2年次評定3.5以上 3.5未満は意欲+家計基準
貸与奨学金 (第二種)	あり(利子あり)		—
入学時特別増額貸与奨学金 (単独での貸付なし) 冊子のP21	あり(利子あり)	日本政策金融公庫の『国の教育ローン』を申し込む必要があり、『国の教育ローン』を利用できなかった場合に日本学生支援機構から貸与される奨学金。(1回の振込のみ) ※ただし、入学前に奨学金が必要な場合は、労働金庫の「入学時必要資金融資」に別途申し込む手続きが必要。 (『貸与奨学金案内』冊子のP22参照)	

3. 申込期間

給付奨学金・貸与奨学金ともに以下の期間で受け付けます。

	申込期間 (スカラネット入力)	学校への書類提出締切日	採用候補者 決定期間
1回目	4月22日(月)～5月31日(金)	6月3日(月)	10月下旬
2回目	6月1日(土)～6月30日(日)	7月1日(月)	11月下旬
3回目	7月1日(月)～7月31日(水)	8月1日(木)	12月下旬
予備回	10月4日(金)～10月18日(金)	10月21日(月)	1月下旬

○採用候補者の早期決定の為に1回目での手続きを勧めています。

4. 提出書類について

『申し込みのてびき』の中央に挟まっている「様式集」を切り取って提出してください。

- ・様式① 提出書類一覧表 ⇒ 全員提出
- ・様式② 給付奨学金 ⇒ 希望者のみ(貸与との併用可)
- ・様式③ 貸与奨学金 ⇒ 希望者のみ(給付との併用可)
- ・様式④～⇒該当する世帯のみ提出(海外居住者の場合)

※申込書類は、生徒本人の自署です。

(マイナンバーの書類の一部は、保護者の自書欄がありますのでご注意ください。)

5. 今後のスケジュール(1回目の場合)

- ・～5月17日(金) ○申し込みのてびき(緑の冊子)と様式集の記入

※申し込みのてびきのⅡ申込内容(P6～P26)の奇数ページの必要事項を記入

※保護者様と一緒に記入しないとわからないのでご協力をお願いします。

希望者は5/29(水)の放課後、学校で入力サポートをします。

- ・～5月31日(金) ○スカラネットの入力実施

※申込の手引きで記入した内容をパソコンで入力する

- ・入力後1週間以内 ○マイナンバー提出書類(水色の封筒)を記入後、個人で郵便局に持参して『簡易書留』で郵送すること

- ・～6月3(月) ○提出書類を学校に提出

※スカラネット入力終了時に受付番号が表示されるので必ず全書類に記入する

必要書類一式 提出締切日 : 6月3日(月) 厳守

※必ず登校時の朝に進路指導室に提出し、下校前に確認に来てください。

6. 保護者の方へお願い・お知らせ

○スカラネット入力後、1週間以内に水色の封筒のマイナンバー確認書類を個人で郵送する必要があります。水色の封筒の提出内容を確認の上、準備をお願いします。

なお、生計維持者の記入欄は、保護者が自署で記入していただきますのでご注意ください。

○民法の改正により、令和4年4月1日より成年年齢が18歳に引き下げられることに伴い、奨学金希望者全員が提出する『給付奨学金確認書』及び『貸与奨学金確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書』について、親権者の同意(署名)が不要となります。しかし、決定は保護者の収入が基になることや貸与奨学金は、将来生徒が返済する借金であることなど生徒一人だけでは不安なことが多々あります。申込に際しては、十分に話し合いをお願いいたします。

○これは予約採用ですので、進学してからも在学採用という形で申込みができます。

○今後、進学をやめる場合や奨学金が不要になった場合も、手続きを行わなければ、辞退したものと扱われますので、今回は予約だけをしておくことも可能です。

○JassoのHPに進学資金シュミレーターがありますのでご活用ください。

日本学生支援機構奨学金
担当 事務部 太田
Tel 0955-78-1155